

〈令和7年6月30日までのデータ〉

クサギカメムシ フェロモントラップ

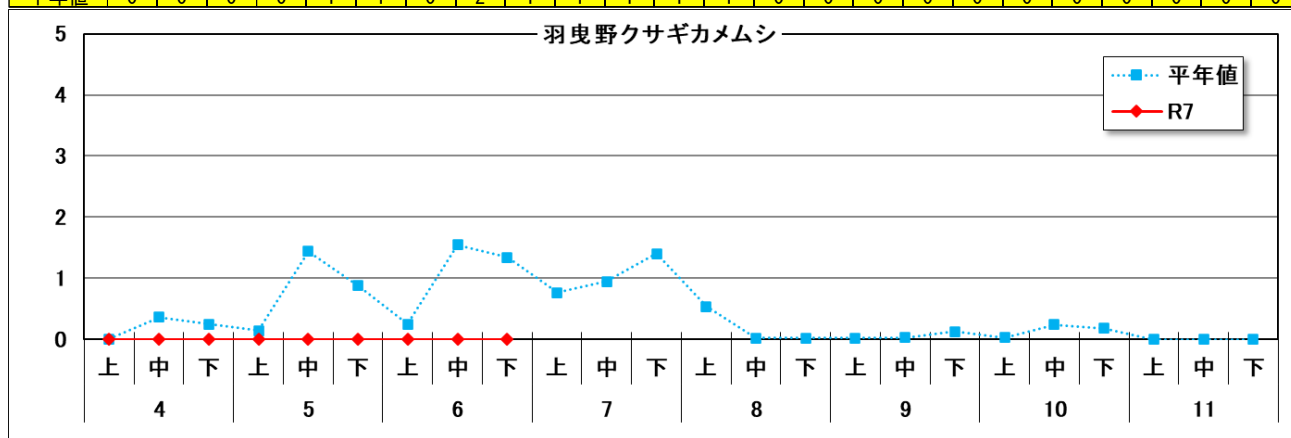
集合フェロモンを利用して発生量を調査しています。誘殺虫数が平年より増加した場合、果樹園への成虫飛来が多く、吸汁被害が発生することがあります。

クサギカメムシは、もも、うめ、かき、発生量が多い場合にはぶどう、みかんなどを加害します。

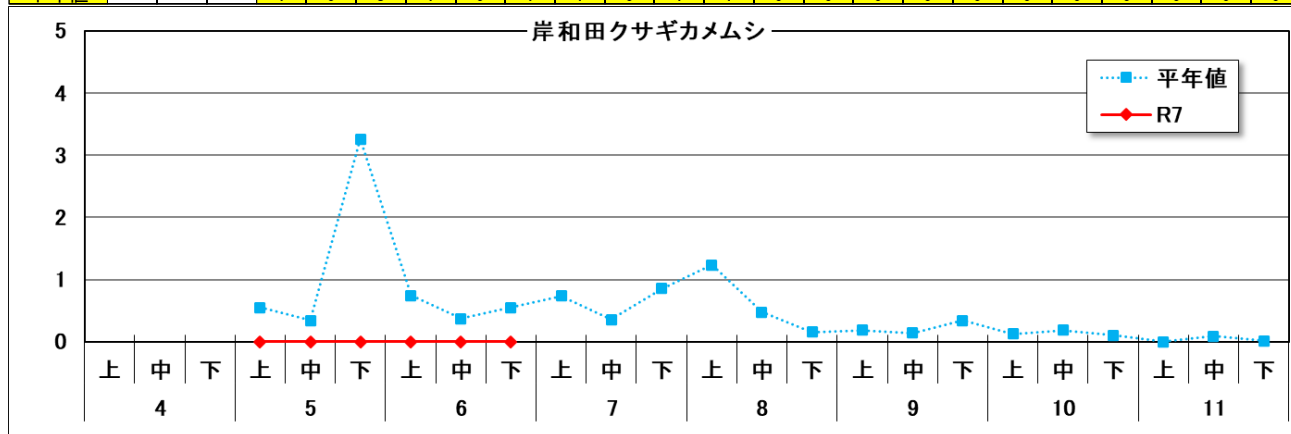
〈調査地点〉羽曳野市、岸和田市、河内長野市

誘殺虫数(旬別) ※縦軸の目盛りはグラフごとに異なる場合がありますのでご注意ください。

羽曳野	4			5			6			7			8			9			10			11		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
平年値	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



岸和田	4			5			6			7			8			9			10			11		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
R7				0	0	0	0	0	0															
平年値				1	0	3	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



〈令和7年6月30日までのデータ〉

河内長野	4			5			6			7			8			9			10			11		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
R7				0	0	0	2	4	1															
平年値				0	1	2	1	1	1	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

